

令和4年10月17日

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
oo

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。もし、まわりに登録されていない方がいましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。
oo

【 本 号 の 内 容 】

【技術普及課からのお知らせ】

☆「グリーンな栽培体系実践セミナー」開催のお知らせ

【施策情報】

☆「MAFF アプリ」をご活用ください！

☆サステナブルな取組の動画作品を募集中

☆新技術・加工・業務用野菜の低コスト化生産技術コース研修のご案内

【病虫害発生予報の発表について】

☆「令和4年度 病虫害発生予報第8号」の発表について

++・…… 技術普及課からのお知らせ ……・++

=====

◆「グリーンな栽培体系実践セミナー」開催のお知らせ

=====

「グリーンな栽培体系」の取組を学ぶ実践セミナーを開催し、環境にやさしい栽培技術の講演や、スマート農業技術の実演を行います。環境にやさしい栽培技術では、WEB サイト「日本土壌インベントリー」で利用できる土壌図や土壌管理アプリの活用や、土壌くん蒸剤の処理量低減化技術や代替技術である土壌還元消毒技術を紹介いたします。

スマート農業技術では、軽労化や安全性の向上が期待できる電動リモコン草刈機や、高能率水田除草機と両正条植田植機を利用した除草作業の効率化技術について紹介します。

普及指導員の皆様におかれましては、積極的なご参加と周知についてご協力のほどよろしく申し上げます。

▼詳細はこちら

○「グリーンな栽培体系実践セミナー」の開催について

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/jisedai_senryaku.html

○実践セミナー申込サイト（グリーンな栽培体系実践セミナー参加申込フォーム）

https://hubs.ly/Q01lx_YZ0

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課（担当：渕上、池田、道端）

（０３－３５０１－３７６９）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆「MAFF アプリ」をご活用ください！

【大臣官房政策課】

=====

「MAFF アプリ」は、農業に携わる皆様へのお役立ち情報を農林水産省から直接お届けするスマートフォン用アプリです。令和２（2020）年５月から開始し、現在では全国各地の約 35,000 人以上のユーザーにご利用いただいています。

本アプリは、無料でダウンロードでき、さらに、お住まいの地域や作目、関心事項等をご登録いただければ、それに応じた政策情報やイベント情報等をプッシュ配信でお届けします。

また、共通申請サービスを経由して、都道府県からも MAFF アプリへ記事発信が可能ですので、普及指導員の皆様におかれましては、様々な情報発信にぜひ本アプリをご活用いただくとともに、農業者へ本アプリのご紹介をお願いします。

▼詳細はこちら

○農林水産省 農業者向けスマートフォン・アプリケーション（MAFF アプリ）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/maff-app.html>

○ダウンロードはこちら（iOS 版）

<https://apps.apple.com/jp/app/id1503326833>

○ダウンロードはこちら（Android 版）

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.maff.maffapp>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課（担当：橘、千明）

（０３－３５０２－６５６５）

=====

◆サステナブルな取組の動画作品を募集中

【大臣官房みどりの食料システム戦略グループ】

=====

食と農林水産業に関わるサステナブルな取組の動画を表彰する、「サステナワード」の動画作品を募集しています。

優秀な作品は、ホームページや農林水産省、消費者庁、環境省の様々なイベント等で発信し、特に優秀な作品は、英語版を作成して、国際会議の場などでも広く発信します。

普及指導員の皆様におかれましては、ご担当の地域、県、市町村等にいらっしゃるサステナブルな取組をしている、一推しの生産者の方、流通、小売りの皆様、そのほか団体の皆様が積極的に応募いただけるよう周知をお願いします。

▼詳細はこちら

○サステナワード 2022 伝えたい日本の“サステナブル”

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/sa2022.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 みどりの食料システム戦略グループ

(担当：古田、五十嵐、笠原、佐野、諸江) (03-6744-2016)

=====

◆新技術・加工・業務用野菜の低コスト化生産技術コース研修のご案内

【農林水産研修所つくば館】

=====

農林水産研修所つくば館では、当館水戸ほ場において新技術・加工・業務用野菜の低コスト化生産技術コースの研修を開催します。農水省担当部局、加工流通業者による座学に加えて軟弱野菜の加工向け専用収穫機やキャベツ収穫機を使用した圃場での収穫実習も予定しています。

普及指導員の皆様におかれましては、加工・業務用野菜への産地育成の取り組みに当たり、当研修をご活用下さるとともに、農業者の方も受講対象となっておりますので、ご関心のある方への周知をお願いします。

▼詳細はこちら

○令和4年度新技術・加工・業務用野菜の低コスト化生産技術コース

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/zyuko/04yasai.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産研修所つくば館 (担当：岡本、小林、飯田)

(029-839-9481)

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和4年度 病虫害発生予報第8号」の発表について

【消費・安全局植物防疫課】

=====

農林水産省は、令和4年10月12日(水)付けで、向こう1か月の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第8号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれましては、病虫害防除所と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○ 向こう1か月の主要な病虫害の発生予察情報(発生予報)については次のとおりです。

- 1 大豆では、吸実性カメムシ類の発生が、四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- 2 野菜では、オオタバコガの発生が、関東、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。
- 3 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、ハスモンヨトウ等、地域によっては発生が多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

▼詳細はこちら

- 「令和4年度 病害虫発生予報第8号」の発表について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/221012.html>

- 病害虫発生予察情報（過去の病害虫発生予報）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課（担当：岡田、麻野、中村、吉田）
(03-3502-3382)

* * * * *

編集後記

* * * * *

目の入りもだんだん早くなり、空模様も目に目に秋らしくなってきました。

秋になると「芸術の秋」、「食欲の秋」、「読書の秋」、「スポーツの秋」などの色んな秋が思い浮かびます。「芸術の秋」は、秋の過ごしやすい気候条件が制作活動に集中しやすく、昔から秋に芸術を親しむという習慣があったため、「食欲の秋」は、秋には色んな作物が豊かな実りをもたらしてくれることや、食材が冬に備えて栄養分や脂肪分を貯え、おいしい食材が豊富となるため、「読書の秋」は、秋の夜は過ごしやすく、読書するのに一番適した季節のため、「スポーツの秋」は、秋の過ごしやすい気候はスポーツを楽しむのに最適なことや、1964年に開催された東京オリンピックが10月の秋に開催されたため、といった由来があるそうですが、あなたが一番に思い浮かぶのは何の秋でしょうか。

我が家の秋は、「値上げの秋」に伴う「節約の秋」になりそうです。

◎編集担当 Y◎

※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。